

楽しく夏休みをすごすには..

子どもたちにとっては、もうすぐ待ちに待った夏休みですね。子どもさんのいる家庭では、海や山へ行く計画を立てていることかと思ひます。今年7月26日から小中学校は夏休みになります。36日もの長い長い

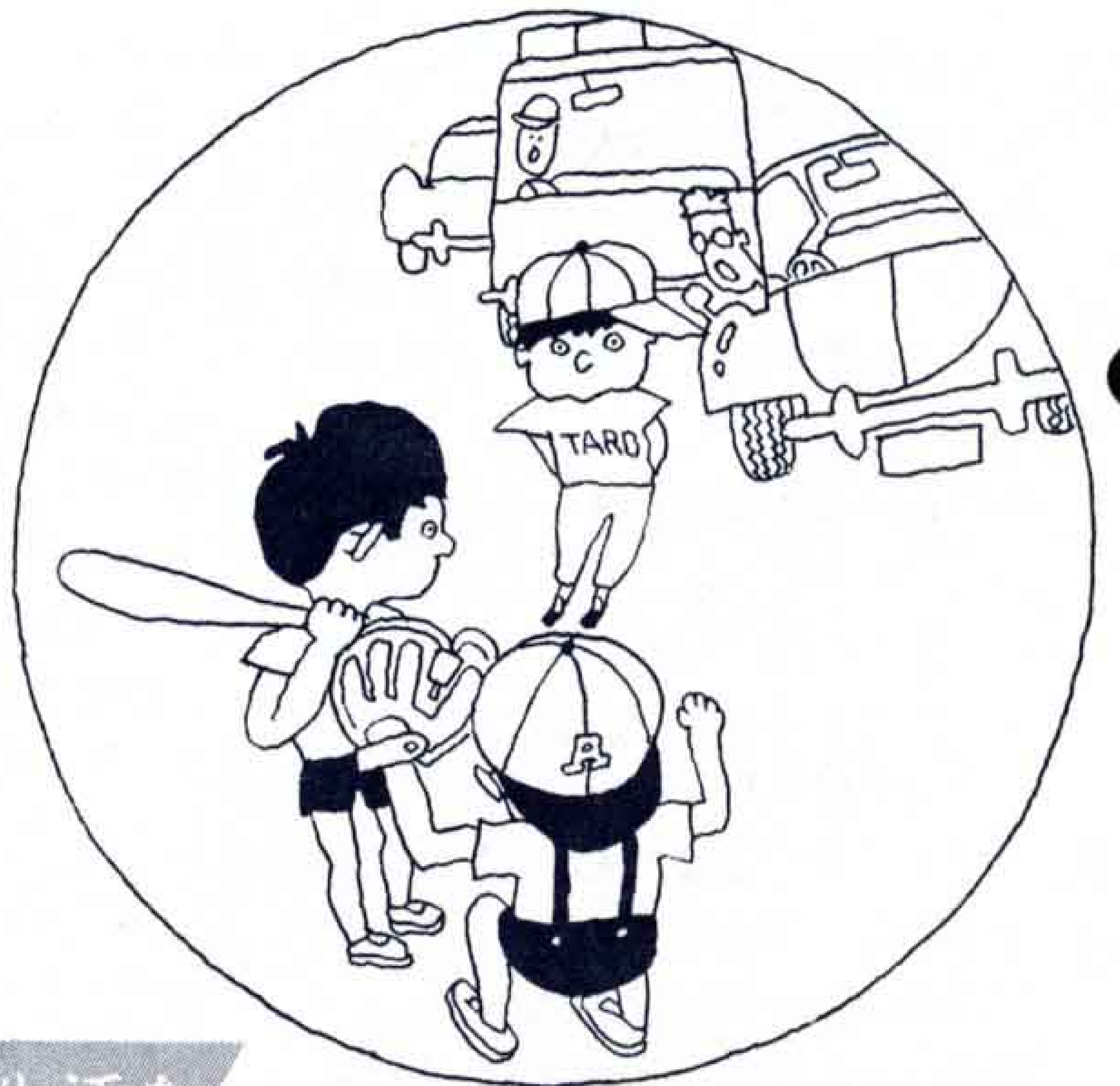
休みになりますが、事故のない楽しい休みにしてあげたいものです。休み中の暮らし方については、学校でもいろいろ注意をしていますが、お母さんがたも、お子さんが学校からも帰ったお知

らせなどをよく読んでください。それでは、子どもたちが夏休みを元気にすごすために必要なことを2、3あげてみましたので参考にしてください。

事故のない生活を

子どもたちは、危険な場所ほど遊びたがります。遊びに夢中になって道路へ飛び出したり、危ないことも平気でやってのけますから、ときどき注意してやることも必要です。また、夏は日が長いので、子ども達は時間のたつのも忘れて遊んでしまいます。市役所では、毎日夕方5時に

広報無線でお知らせ放送していますから、放送を目安に帰宅させるのもよいかと思ひます。子どもたちにいい聞かせておけば、案外わかるのではないでしょうか。



からだをきたえよう

長い休みですから、なにかひとつ体力づくりを考えて、毎日つづけさせ、じょうぶなからだづくりをさせてください。子ども会のラジオ体操に進んで参加させることも、健康なからだづくりといえます。

また、楽しい夏休みも病気をしてはかわいそうですから、無理なスケジュールでの旅行など、ひかえた方が賢明です。それより近く

でもゆっくりできるような計画を立てることですね。

夏休みは、眼や鼻、耳、歯など治療に時間のかかる病気を直すのにもよい機会です。休みに病院がよいはかわいそうなどと、放っておくほ

うがなおかわいそうです。

きまり正しい生活を

いくら休みだからといって、夜ふかし朝寝坊は、健康によくありません。朝寝坊すれば、食事は不規則になり、胃の働きもわるくなります。発育途中のお子さんによい結果が生まれるはずがありません。

やはり、ある程度の規則をつくって守らせることです。規則というより生活のリズムと

考えてください。

計画的な勉強を

休みになると勉強がなかなか手につかなくなりますから、計画をたてて実行させます。しかし、とにかく子どもたちはよくぼった時間割りをこしらえますので、ときには注意してやることも大切です。

